

◆ まちづくりの方向性

市が令和4年2月に策定した長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、当該エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぱら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していくことが必要です。

また、当該エリアが子育て世帯や若者など、多くの人々が集う、まちなかの居場所となり、幅広い世代の交流・学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、まちの魅力につながる新たな機能の導入を図り、官民協働によるまちづくりを行っていくことが重要です。

もんぜんぱら座の既存機能の取り扱い

機能	機能の取り扱い
市民活動・交流支援 生涯学習支援 子育て支援	新田町交差点周辺エリアに残した上で機能拡充することが望ましい
就労支援 生活等支援 障害者支援 外国人支援 観光・情報発信(事務所)	まちの賑いや魅力の創出に直接つながるものではなく、エリア外に移転してサービス向上を図ることが望ましい
商業	周辺の商業環境等を踏まえて判断が必要

新田町交差点周辺に導入することが望ましい機能

機能		具体的な機能
既存機能の拡充	市民活動・交流支援	・若者の居場所など幅広い世代が交流ができる場所 ・地元住民や観光客などが交流できる場所 ・音楽活動として使えるスタジオ
	青少年育成・生涯学習支援	・幅広い世代が利用できる生涯学習の場 ・学生などが利用できる学習コーナー
	子育て支援	・子育てを通して親同士が交流できる場所 ・未就学児童から小学生まで、幅広い世代が利用できる場所 ・雨や雪の日でも遊べる広場
新たな機能	文化教育	・図書館機能やギャラリー機能など
	観光・情報発信	・長野の食や文化が体験できる場など
	商業	・来街目的となる魅力的な飲食や物販など

◆ 新田町交差点周辺のまちづくり

